

令和5年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市わきのさわ鯛島の館、むつ市脇野沢体験農園		
指定管理者	団体名	一般社団法人むつ市脇野沢農業振興公社	
	代表者	理事長 山崎 拓也	
	所在地	むつ市脇野沢七引201番地5	
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）		
指定管理業務の概要	(1) 鯛島の館及び体験農園施設の維持管理と施設運営 (2) 施設の使用許可と利用料金徴収 (3) 施設の維持及び修繕		

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	9,188	8,688	△500
うち利用料金額	0	0	0
うち指定管理料	9,188	8,688	△500
支出合計 (B)	9,188	8,071	△1,117
うち人件費	4,473	4,375	△98
収支差 (A-B)	0	617	617
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由計	・燃料費、水道光熱費等の経費節減に努力した。		

3. 施設利用の状況

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	鯛島の館入館者数	9,000	1,565	△7,435
	肉処理加工室利用日数	0	19	19
	会議室・研修室利用日数	30	13	△17
	農産加工研究室利用日数	50	16	△34
	体験農園利用者数	1	0	△1
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> ） 下北ジオパーク関連の展示をし、来館者のPRに努めた。また、脇野沢地域のPRにも努めた。				

4. 自主事業の実施業況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収 入	支 出

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。

B（適正）：計画された業務水準を概ね達成した。

C（要改善）：計画された業務水準を達成できなかった。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	—	—
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の収受及び施設管理費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊦自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目の改善策を記載すること。

来館者へジオパークのPRを行った。  
 農産加工研究室は、農業者の農産物出荷作業に加えて、加工グループによる、みその加工やそば製麺の製造等にも利用されるなど、農畜産物等の加工促進に努めている。  
 今後とも市と連携を取りながら、鯛島の館の利用促進に努めたい。

7. 市の所管課総合評価 ㊦市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

今後も施設を積極的に活用できるよう、来館者等のPRに努めてほしい。